星弘之プロフィール

福島県会津若松市在住
約５０年前に初めて北海道を訪れ、雄大さに驚き虜になってしまう。以後、毎年北海道に足を運び、多くの素晴らしい風景や動植物に出会う。

１９７８年に別海町尾岱沼白鳥台で太陽と白鳥を撮影時、偶然にも四角い太陽に遭遇。以来蜃気楼の魅力に引き込まれ、現在までに地元の猪苗代湖など日本の１６地点で上位蜃気楼の発生を確認し撮影、その内８地点で第１発見者となり、撮影に成功した。
２０１６年から北海道斜里町を中心に上位蜃気楼を観測・撮影。特に春先、気温が高くなるにつれ流氷が漂いながら少しずつ融け始めるころ、時として現れる「幻氷」の観測・撮影に注力している。
日本蜃気楼協議会会員